

研修会参加者数　72名　アンケート回答者　51名　回収率　72％

**Q２.今日の研修会に参加されてＡＣＰや終末期のことを家で話したり、子供達に伝えようと思いましたか？理由も合わせてお書きください。**

**○「はい」を選択**

・普段から家庭だったり、地域で話をしていないと、看取りについてポジティブに考えられないと思う。

・今回の研修できっかけを得て、重要性を学んだ。

・今まで話した事がないので、これからゆっくり時間をかけて話していこうと思います。

・医療関係ばかり意気込んでも、家族や本人の意識が変わらないと看取りは難しいと思うから。

・普段からこの話題と向き合っていくことが大事と思う。

・自分の家族から始めようと思う。親、子供、夫など。

・子供達も医療関係職なので、内容は理解していると思う。徐々に自分の思いは伝えていっている。

・子供達には将来のことを話しておく必要がある。子供たちの考えも思いも聞いておきたい。

・子供達に迷惑がかからないように今後の話をしていきたいと思う。

・意思表示をすることで子供が困らないと思いました。

・子供には伝えたい。手をかけさせたくないので、エンディングノートは書いておきたいですが、思うだけです。

・家族に近い将来に終末期を迎える人間がいるので･･･。

・60代の自分の親に是非話をしてみようと思いました。

・常日頃より、家族で死について話をすることが大切だと思った。

・祖父が高齢で、タイムリーな話題であるから。

・看取りの3ステップ、意識の有無、認知症の有無のパターンに分けて考えるのは取り入れやすくてよいと思いました。ぜひ家族で考えたいです。

・人間死亡率100％という言葉が印象に残っています。

・ポジティブなこととして、とらえられるようにしたい。

・子供の頃から、終末期が来るということについて話し合い、自由な意見が持てることは良い事だと思います。

・話をすることはとても大切だと気付いたから。

・死に向き合うことの大切さを伝えなければならないと感じた。

・お互いの安心のため。

・本日の研修に参加し、ターミナルケアのケース（約20年前）を思い出しました。本人の意思、家族の意思が決まっていたケースでしたので、看取りに関わる人も方向がぶれずに出来ていたと思いました。さて、自分になると気持ちが定まりませんね。

・簡単には折にふれ話すようにしている。具体的に話す必要を感じた。

・延命治療の希望の話くらいしかしたことがなかったので、今日知ったことを伝えてみようと思いました。

・機会を作っていこうと思います。

・自分の祖父も数年間在宅看護をした後、病院で亡くなりました。祖父としてはきっと自宅で亡くなりたかっただろうし、もっと何かサービスがあれば、もっと別の方法もあったのではないかとも思いましたので、看取りについては話しておくべきことだと思いました。

・残された家族、子供のために話をしたいと思う。

・突然話しても受け入れてもらえるかどうかわかりません。梅王丸と桜丸の「話すことあり」「聞くことあり」です。

**○「どちらともえない」を選択**

・そういうタイミングがあるかどうかで･･･。

・エンディングノートの関心をもったことはあります。

**○「いいえ」を選択**

・記述無し。

**Q３．ＡＣＰについて既に準備をされていることがありますか？ご自由にお書きください。**

・意思決定や家族の思いは普段から家庭内で話をしている。

・もしバナゲームというカードゲームを購入したので、これを使って親と話してみようと思う。

・準備等きちんと出来ていないが、子供達には話をしている。

・このような研修があったことを家族や利用者さんに話をしている。

・終活ノートを書いています。

・多少はしているが、具体的にはしていない。

・自分の意思表示はしているが、家族のことは難しい。

・意思表示をしておく必要を感じており、エンディングノートは持っている。友人、子供、家族には日ごろから伝えるようにしている。

・子供には口頭で希望を伝えている。

・病気などになると、少しは考えるがまだ何もしていない。

・今から考えようと思います。いつその場に直面するかわからないので心の準備は必要と思います。

・私自身には希望はありません。家族の思うようにしてもらったらいいです。家族がいなければすぐに行かせてもらいたいです。

**Q４．「看取り」について今日の研修で気付いたり、考えが変わったことがありますか？ご自由にお書きください。**

・歩けなくなったら、食べれなくなったら、回復しないとなったらと患者・家族と気軽に希望がきけれるように心がけていきたい。

・看取りというと難しく考えてしまうが、今日の講演をきいて、病気や状態ごとに考えればいいのだとわかった。

・看取りの希望を聞いても、直前に変更されることがよくあるらしいので、聞いておくことに意味がないように思っていたが、今日の講演を聴いて、状態に合わせて細かく聞いておけばイメージもしやすく、違うのかなと思った。

・グループワークで看取りに限らず、いつ急なことがあるかわからないので家族で話していたほうがいいという意見を聞いて、若い内から自分に何かあったときのことを話しておかないといけないと思った。

・まだまだ世代間で考え方の違いがあると思います。もう少し自分なりに勉強したいと思います。

・住民への啓発活動。地域のサロン活動、お祭りなどでの終活コーナー、iチャンネルで終活ドラマの放映、学校での教育、入棺体験が大事。

・重たいテーマだからと放置しない。

・看取りまで歩行、食事という段階があることがよくわかりました。段階に応じた対応が必要ですね。

・今までどおり体制が整えば自宅での看取りが出来ていけばよいし、協力していきたい。

・まずは家族で話をしようと思いました。看取りのステップについて広く市民に伝えることが大切であると思いました。

・年老いた親の看取りはしないといけないが、就労している間は難しいと思う。

・自宅で看取りが出来れば親は喜ぶのではないかと思います。

・地域的に無理な面も多いので。「苦痛の緩和」が一番ですかね。

・自宅での看取りに限定せず、施設に入れてもらってもそれなりの手厚さはあるので、「自分はこうしてほしい」気持ちを書くことは必要ですね。

・まだ看取りの方法について一般に周知がなかったり、看取り方の標準化が未完成であること。

・看取りに対して前向きにとらえることが出来た。

・みなさんも色々考えていることが分かり、いいにくい話でもなくなっているような感じがしました。

・医療側としても看取りの支援はなるべくしていきたいと考えていることを知れた。

・在宅での看取りについて、家族でよく知り、考えたいと思いました。

・自分も今後看取りのケースに関わること増えると思うが、本人の希望（どう最期を迎えたいのか？）をためらう気持ちもあるが、しっかり聞くことが重要だと思いました。

・家族の中で話題に出すことは難しい。医療・介護れんらく帳に書くのも難しいが、避けては通れない話題なんだと認識しました。

・自分の人生について、どう生きたいのかを今一度思い起こせました。

・私が家族の看取りについて、しっかり取り組まないといけないことが分かった。

・親の看取りは会話の中で、どのような終末が良いか、聞くことが大切だと思います。出来れば親、子、孫（もしくは兄弟）など3人以上の席で話したいです。

・終末期のイメージをすることをサポートできるように患者さんとの信頼関係づくりをしっかり努めていきたい。

・看取りや在宅、施設など日ごろより話す必要を感じた。

・ポジティブに。

・ACP自体初めて聞いたので、少しずつ勉強していければと思います。

・看取りの3ステップはわかりやすくにためになりました。実際活用していきたい。

・家族で話し合いをしたい。希望を書面で残したい。

・家族の理解と覚悟、そして、協力してくださる医師の存在が重要です。新見地域の医師も高齢化しているようなので、フットワーク軽くという訳にはなかなかいかないのではないでしょうか？

・関係者であっても、新見市での看取りの現状について知らない方も多いことが分かった。いかに普及啓発していくかが今後の課題だと思いました。

・終末期の医療を考える時、家族であっても、自分自身であっても今をどう生きるか。が大切である。私自身意識がなくなり、延命治療が必要となった時は、生かされる状態は嫌なので希望しませんと書きます。

**Q５．講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればお書き下さい。**

・多職種の方と色々な意見交換が出来てよかったです。

・時間的にも方法的にも適当と思います。ありがとうございました。

・ワールドカフェが出来るともっと知り合いが増えると思います。

・グループワークが盛り上がって楽しい。長く続けると色々な話が躊躇なく話せて楽しい。

・山本先生は地域のことまで考えておられ、すばらしい医師と再認識した。なぜ新見出身に見えないのだろう？医師以外のコミュニティが取り辛い？

・色々な立場の方と情報交換が出来ることはいいと思いますが、何か形として残ったのかというと何もなく、話して終わりという気もしました。

・研修の回数も重ねているので、意見の出しあいがスムーズになっているように思う。この会の継続は必要だと思った。

・多職種の方々とグループ討議が出来ていつもとても勉強になっています。

・山本先生の話をもう一度聞きたい。初めて聞くことが多く、早口だったのでゆっくり聞きたいです。

・グループワークで考えが深まったのでよかったです。

・看取りについて住民にPRするテレビ番組を作って下さい。

・テーブルのメンバーが顔なじみになって来ました。これは会に参加することで、なじみの関係になり連携がスムーズになっていると思われます。講義の内容はいつも身近なテーマで参加しやすいです。スタッフの方々はメンバー調整など大変だと思います。ありがとうございます。

・終わりの時間8時半は遅い、もっと早めに終わって欲しい。

・今回ホワイトボードだったので書き直しも出来、まとめてやすくてよかったです。良い話し合いになりました。

・パワーポイントの字が小さく見辛かったです。

・先生の講義はわかりやすかった。今回のテーマについては色々な職種の方々からそれぞれの立場での意見を聞けてよかった。終活が昨今話題になっておりこのテーマは今後も続けてほしいと思いました。

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました。